

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC1程度の日本語力を身につける			
教科書	中級を学ぼう 中級中期（スリーエーネットワーク）／テーマ別 上級で学ぶ日本語（研究社）			
特記				
授業計画	1	1課 色	31	第5課 さばく
	2	1課 色 復習	32	第5課 さばく 復習
	3	2課 ユーモア・ジョーク	33	確認テスト
	4	2課 ユーモア・ジョーク 復習	34	第6課 うやまう
	5	3課 制服	35	第6課 うやまう 復習
	6	3課 制服 復習	36	第7課 ふせぐ
	7	4課 算数	37	第7課 ふせぐ 復習
	8	4課 算数 復習	38	第8課 もてなす
	9	5課 遊びと運動	39	第8課 もてなす 復習
	10	5課 遊びと運動 復習	40	第9課 よびかける
	11	確認テスト	41	第9課 よびかける 復習
	12	6課 お金	42	第10課 えらぶ
	13	6課 お金 復習	43	第10課 えらぶ 復習
	14	7課 水	44	確認テスト
	15	7課 水 復習	45	第11課 いかす
	16	8課 遺伝	46	第11課 いかす 復習
	17	8課 遺伝 復習	47	第12課 つなぐ
	18	9課 漫画・アニメ・本	48	第12課 つなぐ 復習
	19	9課 漫画・アニメ・本 復習	49	第13課 たのしむ
	20	10課 ヒトと動物	50	第13課 たのしむ 復習
	21	10課 ヒトと動物 復習	51	第14課 きたえる
	22	確認テスト	52	第14課 きたえる 復習
	23	第1課 しる	53	第15課 いきる
	24	第1課 しる 復習	54	第15課 いきる 復習
	25	第2課 いたわる	55	確認テスト
	26	第2課 いたわる 復習	56	1課 色 応用
	27	第3課 ならう	57	2課 ユーモア・ジョーク 応用
	28	第3課 ならう 復習	58	3課 制服 応用
	29	第4課 よみとる	59	4課 算数 応用
	30	第4課 よみとる 復習	60	5課 遊びと運動 応用
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC1程度の日本語力を身につける			
教科書	中級を学ぼう 中級中期（スリーエーネットワーク）／テーマ別 上級で学ぶ日本語（研究社）			
特記				
授業計画	61	確認テスト	91	まとめテスト⑥
	62	6課 お金 応用	92	まとめテスト⑦
	63	7課 水 応用	93	まとめテスト⑧
	64	8課 遺伝 応用	94	まとめテスト⑨
	65	9課 漫画・アニメ・本 応用	95	まとめテスト⑩
	66	10課 ヒトと動物 応用	96	まとめテスト⑪
	67	確認テスト	97	まとめテスト⑫
	68	第1課 しる 応用	98	まとめテスト⑬
	69	第2課 いたわる 応用	99	まとめテスト⑭
	70	第3課 ならう 応用	100	まとめテスト⑮
	71	第4課 よみとる 応用		
	72	第5課 さばく 応用		
	73	確認テスト		
	74	第6課 うやまう 応用		
	75	第7課 ふせぐ 応用		
	76	第8課 もてなす 応用		
	77	第9課 よびかける 応用		
	78	第10課 えらぶ 応用		
	79	確認テスト		
	80	第11課 いかす 応用		
	81	第12課 つなぐ 応用		
	82	第13課 たのしむ 応用		
	83	第14課 きたえる 応用		
	84	第15課 いきる 応用		
	85	確認テスト		
	86	まとめテスト①		
	87	まとめテスト②		
	88	まとめテスト③		
	89	まとめテスト④		
	90	まとめテスト⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC2程度の日本語力を身につける			
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）			
特記				
授業計画	1	1. 遠距離結婚	31	15. 日本型雇用システム（2）
	2	1. 遠距離結婚 復習	32	15. 日本型雇用システム（2） 復習
	3	2. 「輝く女性」とは何なのか	33	確認テスト
	4	2. 「輝く女性」とは何なのか 復習	34	16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ
	5	3. 父親の育児参加	35	16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ 復習
	6	3. 父親の育児参加 復習	36	17. どうする？長時間労働
	7	4. 社内結婚、企業が後押し	37	17. どうする？長時間労働 復習
	8	4. 社内結婚、企業が後押し 復習	38	18. なぜコミュニケーション能力か
	9	5. 働き方	39	18. なぜコミュニケーション能力か 復習
	10	5. 働き方 復習	40	19. インターネットの隆盛
	11	確認テスト	41	19. インターネットの隆盛 復習
	12	6. なぜ少子化が社会問題なのか	42	20. ロボットの活用
	13	6. なぜ少子化が社会問題なのか 復習	43	20. ロボットの活用 復習
	14	7. 「買い物弱者」	44	確認テスト
	15	7. 「買い物弱者」 復習	45	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか
	16	8. 離れて暮らす親の見守り	46	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか 復習
	17	8. 離れて暮らす親の見守り 復習	47	22. 「ビッグデータ社会」
	18	9. ノーマライゼーションの地域をつくる	48	22. 「ビッグデータ社会」 復習
	19	9. ノーマライゼーションの地域をつくる 復習	49	23. 本当に「原発は安い」のか
	20	10. 高齢社会は怖くない	50	23. 本当に「原発は安い」のか 復習
	21	10. 高齢社会は怖くない 復習	51	24. タバコのもたらすもの
	22	確認テスト	52	24. タバコのもたらすもの 復習
	23	11. 学歴とは別のものさしで	53	25. 人間のおごり
	24	11. 学歴とは別のものさしで 復習	54	25. 人間のおごり 復習
	25	12. メディア機器・IT機器の影響	55	確認テスト
	26	12. メディア機器・IT機器の影響 復習	56	1. 遠距離結婚 応用
	27	13. 「主権者教育」	57	2. 「輝く女性」とは何なのか 応用
	28	13. 「主権者教育」 復習	58	3. 父親の育児参加 応用
	29	14. 日本型雇用システム（1）	59	4. 社内結婚、企業が後押し 応用
	30	14. 日本型雇用システム（1） 復習	60	5. 働き方 応用
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC2程度の日本語力を身につける			
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）			
特記				
授業計画	61	確認テスト	91	まとめテスト⑥
	62	6. なぜ少子化が社会問題なのか 応用	92	まとめテスト⑦
	63	7. 「買い物弱者」 応用	93	まとめテスト⑧
	64	8. 離れて暮らす親の見守り 応用	94	まとめテスト⑨
	65	9. ノーマライゼーションの地域をつくる 応用	95	まとめテスト⑩
	66	10. 高齢社会は怖くない 応用	96	まとめテスト⑪
	67	確認テスト	97	まとめテスト⑫
	68	11. 学歴とは別のものさしで 応用	98	まとめテスト⑬
	69	12. メディア機器・IT機器の影響 応用	99	まとめテスト⑭
	70	13. 「主権者教育」 応用	100	まとめテスト⑮
	71	14. 日本型雇用システム（1） 応用		
	72	15. 日本型雇用システム（2） 応用		
	73	確認テスト		
	74	16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ 応用		
	75	17. どうする？長時間労働 応用		
	76	18. なぜコミュニケーション能力か 応用		
	77	19. インターネットの隆盛 応用		
	78	20. ロボットの活用 応用		
	79	確認テスト		
	80	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか 応用		
	81	22. 「ビッグデータ社会」 応用		
	82	23. 本当に「原発は安い」のか 応用		
	83	24. タバコのもたらすもの 応用		
	84	25. 人間のおごり 応用		
	85	確認テスト		
	86	まとめテスト①		
	87	まとめテスト②		
	88	まとめテスト③		
	89	まとめテスト④		
	90	まとめテスト⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	聴解Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	ニュースの日本語聴解50 経済・金融① 政治・行政① 社会・生活①
	2	ニュースの日本語聴解50 経済・金融② 政治・行政② 社会・生活②
	3	ニュースの日本語聴解50 経済・金融③ 政治・行政③ 社会・生活③
	4	ニュースの日本語聴解50 経済・金融④ 政治・行政④ 社会・生活④
	5	確認テスト
	6	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑤ 政治・行政⑤ 社会・生活⑤
	7	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑥ 政治・行政⑥ 社会・生活⑥
	8	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑦ 政治・行政⑦ 社会・生活⑦
	9	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑧ 政治・行政⑧ 社会・生活⑧
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	聴解IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C2程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる	
教科書	留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解上級	
特記		
授業計画	1	第1課 応用問題演習
	2	第2課 応用問題演習及び要約
	3	第3課 応用問題演習及び要約
	4	確認テスト
	5	第4課 応用問題演習及び要約
	6	第5課 応用問題演習及び要約
	7	第6課 応用問題演習
	8	第7課 応用問題演習及び要約
	9	確認テスト
	10	まとめテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の読解問題や論文などが程度のスピードで理解できる	
教科書	中上級者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1 「中身当てクイズ」 佐藤雅彦・2 「お母さん みんなで食卓を囲む幸せ」 よしもとばなな
	2	3 「やっぱり敬語が必要なわけ」 橋本治・4 「シンプル」 山本昌代
	3	5 「ブツケ」 梅棹忠夫・6 「脳のはたらきを目で見てみよう」 川島隆太
	4	確認テスト
	5	7 「大根を半分」 沢木耕太郎・8 「隣人訴訟事件」 後藤昭
	6	9 「わざわざ書く」 宮沢章夫・10 「東京スカイツリーの秘密」 瀧井宏臣
	7	11 「天井裏」 村上春樹・12 「吟味された言葉」 大江健三郎
	8	13 「新社会人劇場」 倉本聰・14 「三十秒と三分」 阿刀田高
	9	確認テスト
	10	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C2程度の読解問題や論文などのある程度のスピードで読み、把握できる	
教科書	上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1. 途中下車・2. 愛情としつけ
	2	3. 贈るかたちと意味・4. 鞆
	3	5. 平成おとぎ話・6. 「主人」から「夫」へ
	4	確認テスト
	5	7. 安楽死ということば・8. わすれ傘
	6	9. リーダーシップ論・10. 魚の骨
	7	11. 痛いといわなければ、痛くない・12. 国字作成のメカニズム
	8	13. 足の表現力・14. ソムリエの妻
	9	確認テスト
	10	定期試験
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字表記Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書が提出する文字・語彙が使用場面による違いも含めて理解できる	
教科書	テーマ別 上級で学ぶ日本語三訂版（研究社）	
特記		
授業計画	1	第1課、2課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	2	確認テスト
	3	第3課、第4課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	4	確認テスト
	5	第5課、第6課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	6	確認テスト
	7	第7課、第8課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	8	確認テスト
	9	第9課、第10課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	10	確認テスト
	11	第11課、第12課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	12	確認テスト
	13	第13課、第14課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	14	確認テスト
	15	まとめテスト①
	16	まとめテスト②
	17	まとめテスト③
	18	まとめテスト④
	19	まとめテスト⑤
	20	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字表記Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書の提供する難易度の文字・語彙が使用できる	
教科書	日本語能力試験直前対策N1文字・語彙・文法	
特記		
授業計画	1	第1回 文字語彙 問題演習
	2	第1回 文字語彙 解説
	3	確認テスト
	4	第2回 文字語彙 問題演習
	5	第2回 文字語彙 解説
	6	確認テスト
	7	第3回 文字語彙 問題演習
	8	第3回 文字語彙 解説
	9	確認テスト
	10	第4回 文字語彙 問題演習
	11	第4回 文字語彙 解説
	12	確認テスト
	13	第5回 文字語彙 問題演習
	14	第5回 文字語彙 解説
	15	確認テスト
	16	第6回 文字語彙 問題演習
	17	第6回 文字語彙 解説
	18	確認テスト
	19	第7回 文字語彙問題演習および解説
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本事情Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	学んだ日本文化事情についてのプレゼンテーションができる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	レポート作成 1
	4	講義 2
	5	レポート作成 2
	6	講義 3
	7	レポート作成 3
	8	講義 4
	9	レポート作成 4
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本事情Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化事情について解釈したことをプレゼンテーションする	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	レポート作成 1
	4	講義 2
	5	レポート作成 2
	6	講義 3
	7	レポート作成 3
	8	講義 4
	9	レポート作成 4
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習	
達成目標	専門的な話題に対して議論しあえる	
教科書	日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課 自己紹介で好印象をあたえよう
	2	発表
	3	第2課 きっかけを語ろう
	4	発表
	5	第3課 なくした体験を話そう
	6	発表
	7	第4課 町の様子を話そう
	8	発表
	9	第5課 動きの順序を説明しよう
	10	発表
	11	第6課 スポーツのおもしろさを伝えよう
	12	発表
	13	第7課 言いかえて説明しよう
	14	発表
	15	第8課 比べて良さを伝えよう
	16	発表
	17	まとめテスト①
	18	まとめテスト②
	19	まとめテスト③
	20	まとめテスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習	
達成目標	正確な自己表現や複雑な会話状況における細かい意味の違いの理解ができるようになる	
教科書	日本語超級話者へのかけはし（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課 実技演習（短く的確に伝える）
	2	発表
	3	第2課 実技演習（インフォーマルな話し方を身に着ける）
	4	発表
	5	第3課 ロールプレイ（心情を表す表現を使う）
	6	発表
	7	第4課 ロールプレイ（相手に同調して話を聞く）
	8	発表
	9	第5課 実技演習（待遇表現を使う）
	10	発表
	11	第6課 実技演習（グラフを用いて説明する）
	12	発表
	13	第7課 ディベート演習（異なる視点から意見を述べる）
	14	発表
	15	第8課 実技演習（構成を考えて説明する）
	16	発表
	17	まとめテスト①
	18	まとめテスト②
	19	まとめテスト③
	20	まとめテスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2023年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	確認テスト
	6	〔第2回〕日本語（記述）
	7	〔第2回〕日本語（読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴読解）
	9	〔第2回〕日本語（聴解）
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2024年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	確認テスト
	6	〔第2回〕日本語（記述）
	7	〔第2回〕日本語（読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴読解）
	9	〔第2回〕日本語（聴解）
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	作文Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	複雑な話題について適切な構成で記述が行えるようになる	
教科書	大学で学ぶための日本語ライティング（ジャパンタイムス）	
特記		
授業計画	1	第1課 簡潔に回答する
	2	第2課 情報を文章にする
	3	第3課 状況を説明し、意見を述べる
	4	レポート作成
	5	第4課 段落を作る
	6	第5課 体験したことを報告する文を書く
	7	第6課 テーマに沿った意見文を書く
	8	第7課 自分をアピールする文を書く
	9	レポート作成
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	作文IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	話し言葉や書き言葉から得た情報を一貫した方法で再構成し、記述ができるようになる	
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）	
特記	課を選択して感想や意見を書く	
授業計画	1	課を選択して感想や意見を書く 1～3
	2	課を選択して感想や意見を書く 4～5
	3	課を選択して感想や意見を書く 6～10
	4	課を選択して感想や意見を書く 11～13
	5	発表
	6	課を選択して感想や意見を書く 14～16
	7	課を選択して感想や意見を書く 17～18
	8	課を選択して感想や意見を書く 19～23
	9	課を選択して感想や意見を書く 24～26
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠B2レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	JLPT日本語能力試験完全模試N3（Jリサーチ出版）／JLPT日本語能力試験完全模試N2（Jリサーチ出版）	
特記		
授業計画	1	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	2	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	3	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	4	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	5	第3回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	6	第3回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	7	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（文字語彙・文法）
	8	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（読解・聴解）
	9	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（文字語彙・文法）
	10	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（読解・聴解）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	日本語能力試験N2・N1模擬テスト 千駄ヶ谷日本語能力研究所著（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	日本語能力試験N2模擬テスト<1> 演習
	2	日本語能力試験N2模擬テスト<1> 解説
	3	日本語能力試験N2模擬テスト<2> 演習
	4	日本語能力試験N2模擬テスト<2> 解説
	5	確認テスト
	6	日本語能力試験N1模擬テスト<1> 演習
	7	日本語能力試験N1模擬テスト<1> 解説
	8	日本語能力試験N1模擬テスト<2> 演習
	9	日本語能力試験N1模擬テスト<2> 解説
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		